かじかのさとだより

第32号

発行／〒889-2401 南那珂郡北郷町大字大藤甲3186番地1／TEL0987(55)3738　FAX0987(55)3739
社会福祉法人 愛泉会　特別養護老人ホーム　河鹿の里

新年のご挨拶

愛泉会副理事長
河鹿の里施設長
川越　宏

新年あけましておめでとうございます。

新しい年が皆様にとって、健康で希望に満ちた年でありますよう心からお祈り申しあげます。

二〇〇八年、日本経済はグローバル化の中で未曾有の経済危機を向かえ、しいては、労働雇用の問題にまで波及し、暮には非正規労働者等をはじめ多くの労働者がそのあおりを受け一部では解雇されるという事態に陥り、戦後の経済市場まれにみる時代を迎え大きな転換を求められています。一方、急速に少子高齢化が進行し、人口の減少が到来するなか国や地方の財政は厳しい状況にあります。

そのような中、社会保障制度に対する考え、特に高齢者医療の問題〈後期高齢者医療〉、少子化問題、障害者問題等を受け、安定的で持続可能な医療保険制度、安心できる年金制度の構築などさまざまな問題が提起されました。特に人口の減少・少子高齢化という社会の激流の大きな変動期を迎え変化への対応が急務であります。

さて、人口問題研究所が公表している日本の推進人口によれば、二〇〇六年の総人口は一億二千七百万人をピークに今後大きく減少し、二〇〇四六年には一億人を割り込み、人口構造についても、大幅に変化し高齢化率が二〇五二年には四〇％になると推測されております。さらに、少子化による合計特殊出生率の低下はほぼ横ばいとなるものの、母世代の人口が減少しているために出生数が減少することに加え、長寿化により一層の高齢化が進むことになります。人口問題の関心の中心が少子化から高齢化へと移り、労働市場や社会保障制度における高齢者の概念も転換が不可欠であり、そのためには、健康寿命が七十半ばに延びる中、就労能力と意欲を持つ健康な高齢者の自立のために、多様な働き方が可能な社会を築く事で高齢者の活動意欲が報われ大きな成果を生むような希望の持てる社会を目指すことが必要と思います。

二〇〇九年は、河鹿の里をはじめとして関連施設（愛泉会日南病院・清風園等）における意識改革、職員のスキルアップを図り、質の高いケア体制を構築し、皆様が安心して利用できる施設として全職員一丸となり努力してまいる所存であります。

念頭にあたり、引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げご挨拶といたします。

※ 写真、名前の掲載はご家族、ご本人の承諾を得ています。

今年の年女の皆様を御紹介します。

金丸ハツ子様

普段はスタッフと共に行動される事の多いハツ子さん、よく笑い顔を見せてくださいます。これからも穏やかに、すごして頂きたいと思います。

濱田フデ子様

スタッフの冗談話に、以前は、「アッハッハー」とよく笑われ、私達をとても楽しい気持ちにさせて下さいました。あの頃のフデ子さんの笑顔をまた見せて頂きたいと思います。

遠山フミエ様

「フミエさん写真を撮りますよ。目を開けて下さいね。」スタッフの声かけに、久しぶりにパッチリと目を開けて下さいました。とてもうれしい瞬間でした。

石崎チエ子様

スタッフの声かけに、いつも元気良く満面の笑みで「おおきんな」と答えて下さいます。冗談も返される程のとても陽気な人柄です。

大迫ミツエ様

「ミツエさん。」と声掛けをすると、「ハーイ!!」と返事をされる大迫さんです。声が聞こえると私共も嬉しく、元気を頂いています。

祝 獅子舞

河鹿の里に福来たれ!!

飯肥田ノ上八幡神社の方々が来園されました。利用者の皆様は、大喜びでした。

初詣

駒宮神社に初詣に出かけました。今年も良い年であります様にと皆様、真剣に参拝されました。振る舞いのぜんざいがとても美味しかったです。

土屋ミツヲ様

干支作り手芸クラブ

那須先生の御指導の元、二〇〇八年最後の作品として、干支の牛作りに挑戦しました。予め縫い合わせた布に綿を詰め、目鼻、耳をつけると大変かわいらしい牛が完成しました。（一面）

もちつき

十二月二十六日に恒例の餅つきが行われました。利用者の皆様の力強い「ヨイショ。」の声援に合わせ、スタッフと家族の方とでつき上げました。

生花クラブ

暮れの三十日に住田先生の御指導の元、お正月用の花を生けました。松竹梅をはじめ目出度い花材ばかりで、生けられた花々を見ながら、「このようなゆったりとした時間を持つ事で心が豊かになりますね」と皆様、大変満足されていました。お正月はきれいなお花に囲まれて、優雅な気分で過ごして頂けたらと思います。

クリスマス会 ディナーショー

クリスマス会、クリスマスディナーショーも毎年恒例となりました。今年も園児の踊りや、ハーモニカ、エレクトーン、ハンドベル演奏、歌などで皆様にとても喜んで頂きました。五人のサンタも登場し、とても賑やかでした。

クイズ頭の体操

新しい試みとして、廊下にクイズコーナーを設けました。皆様、懸命に解いていらしゃいます。頭を使う事は、とても良い事ですね。

頑張ってます

崎村ナツエ様

いつも意欲的に歩行訓練に取り組まれていますが、時々膝に痛みがある為体調を見ながら実施しています。これからも頑張って下さいね。

母のまなざし

阿　部　ユ　キ 様

ありがとうの心で

私の母（ユキ）が河鹿の里に入所させて頂いたのは、昨年の春三月。桜の花が咲くのを心待ちにしている季節でした。若い頃の母は家事と育児そして、少しばかりの家庭菜園で汗を流すのが日課でした。子供達が巣立った後は、父と二人仲良く暮らしていました。趣味が多く旅行好きな父とは反対に母は、内面的な性格で外出するのを好まず、家の中でテレビを見て「ボーッ」としている事が多く、足腰が弱くなりました。昔の事は鮮明に覚えているのに五分前の事を忘れる。父から怒られるのも度々で炊事も出来なくなり笑顔も見られなくなりました。肺炎で入院した時、大きな声を出し点滴を外そうとしたりベッドから降りたりして二十四時間の看病で私の妹と家内は、ぐったりとなり家族会議もしました。河鹿の里への入所通知を頂いた時はホッカリした気持ちとホームの方々にご迷惑を掛けるのではないか心配でした。二ヶ月後の面会の日、母の生家の義姉に電話をかける事にしました。ところが私は電話番号が解らず母に聞くとスラスラと返ってきました。「初ちゃん、こんなに良い所はないよ。あんたも遊びに来ないよ」これには驚き感動しました。「ありがとう」が言えなくなっていた母は面会に行く度、「職員の方々が良くしてくれる。食事もおいしい」感謝の言葉が言える様になっていたのです。これも河鹿の里のスタッフの方々の日々の努力のお陰です。「ありがとう」これからも、よろしくお願い致します。

阿部　千秋（息子）

スタッフより一言

手芸や絵画などクラブ活動に参加され熱心に取り組まれ、作品を上手に仕上げられています。これからも頑張って下さい。

母への思い

崎　村　ナツエ 様

私の記憶に残っている母は、とにかく働き者の母親でした。以前は北郷町もみかん農園の推進をしており母もみかん生産をしておりました。父は、大工の仕事をしておりましたので休日に手伝う位でほとんど一人でやっていました。朝早くから夕方暗くなるまで働いており、あまり帰りが遅い時は、途中まで心配で迎えに行った事も多々ありました。そんな折、父が入院し、七十歳を目前に二十五年前に他界しました。母もみかん生産の仕事をやめ畑の仕事をしたり、老人クラブの人達とゲートボールを楽しみ大会等に参加し、メダルも沢山いただいた様でした。畑で収穫した野菜は、誰かにやるのが楽しみな様で畑の手入れに余念がなく私が家の方へ行った時は、必ず畑の仕事をしていました。雨の日は、手芸の好きな母でもありましたので文化刺繍の製作に取り組み、同じ様な色使いの色の選び方に迷っている母の姿が思いだされます。わたしの家にも新築祝いに作ってくれた床の間の屏風と家紋があり大事に飾ってあります。そんな頑張り屋の母も、無理がたたってか徐々に足の痛みがでてきて家の中では、歩くより這って行った方が楽な様で家事等も少し苦痛を感じている様でしたのでショートステイを利用後河鹿の里へ入所させていただきました。施設の皆様のお陰で、母にとって今が一番心配もなく充実した生活を送っているのではないかと思い感謝致しております。少し頑固な所もある母ですが、スタッフの皆様、今後共よろしくお願い致します。

水本　寮子（娘）

スタッフより一言

行事やクラブ活動、又歩行訓練にと毎日忙しいナツエさん最近では編み物も楽しまれています。無理して体調を崩されないよう気を付けて下さいね。

担当者より

御家族の皆様からの心温まる「まなざし」への投稿、本当にありがとうございます。皆様の思いにふれ、感動のコーナーとなっております。これからもよろしくお願い致します。

介護教室について

相談員　後藤秀人

こんにちは、北郷町地域包括支援センターです。私達は住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続出来るように、様々な方面から高齢者等の皆様を支える機関です。

今回、取り組みの一部を御紹介します。私達は、北郷町で公民館単位で催されている「地域サロン」を訪問し、介護予防や認知症についての話はもとより、最近多発している高齢者をターゲットにした悪徳商法についても、被害を未然に防止出来る様にと情報の提供や相談を行っております。

これからも地域の皆様が安心して生活出来ます様、様々な活動を行っていきたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願い致します。

県中央ブロック職員研修会に参加して

介護士　遠藤千津子

今回参加した研修の講話の中に、「利用者を福祉の世界に閉じこめない」との言葉がありました。当施設及びデイサービスセンターでは、初詣、花見、ドライブ、買物ツアー、グルメツアー、フローランテ見学等、四季を通した様々な行事の中で、常に地域社会との関わりを大切に考えて参りました。又、文化祭での演奏や作品展示等の社会参加におきましては、地域の皆様にも大変楽しんで頂いております。今後も利用者の皆様に喜んで頂ける様、地域の皆様とのふれあい、交流を重視した社会参加型の行事の企画等を積極的に行って参りたいと思います。

デイサービスコーナー

デイサービスでは、リハビリを兼ね、季節に応じた作品作りを行っています。その一部を紹介します。今回は下描きのしてある絵に、利用者の皆様が丸めたカラフルなお花紙をのりで貼ってサンタクロースを作りました。その他、紙テープを切ってコスモスを作り、それをたくさん合わせると満開のお花畑になりました。皆様は、楽しみながら製作をしておられ、出来上がると「きれいやの。今度は何を作るの」と創作活動に意欲的です。みんなで力を合わせることで、すばらしい作品が出来ました。

また、十一月十七日から二十一日にかけて南郷方面へドライブに出かけました。天候にも恵まれ、絶好のドライブ日和で、バスの中ではみんなで歌を歌って盛り上がりました。場所を変えることで、施設内の活動とは違った雰囲気を楽しまれ、普段出来ない買い物を堪能されていました。

中堅職員研修に参加して

介護士　笠　真奈美

今回の研修では、社会福祉制度や高齢者虐待問題、職場でのチームワーク作りの方法や職員指導等を学びました。今後は、この研修で習得した事を活かし、利用者の皆様の声に耳を傾け、相談しやすい体制作りをする為に、職員間の意見交換が出来るように努めていきたいと思います。そして、一人でも多くの方に信頼される職員を目指し常に努力していきたいと思います。

施設内研修

河鹿の里では、外部講師による全職員を対象とした研修会を定期的に行い、日々の業務に活かす事で、より良いサービスの提供に努めております。

愛泉会日南病院
立川理学療法士

●理学療法士による施設でのリハビリテーション

今回は、立位、座位、臥位での正しい姿勢について学びました。良い姿勢は、体を支える筋肉の働きが最小限で済み、疲れを少なくし、身体諸臓器の機能を高く保つ為、利用者の皆様には、安楽であると共に、褥瘡や拘縮の予防になるとの事で、実際に拘縮のある方の可動域訓練法も実践を混じえ教えて頂きました。

愛泉会日南病院
峯松医師

感染症～インフルエンザ

皆様には、テレビ、新聞等を通じ、鳥インフルエンザウイルスの事が記憶に新しいかと思います。今回の研修の中で、過去に大流行した新型インフルエンザが何千万人もの命を奪った事もあったと聞き、改めて感染症の恐ろしさを実感致しました。特効薬タミフルの事や予防策等を学ぶ事が出来ました。今後、学習した事を常に念頭に置き、施設内での感染症の予防や対策に努めていきたいと思います。

ホッと一息

昨年は、園庭に皇帝ダリアが一杯咲き誇り、私達の目を楽しませてくれました。利用者の皆様からも「美しいなあ」との感嘆の声が聞かれました。

御礼

家族会の吉田様より今年もポインセチアの鉢植を沢山頂きました。目に鮮やかな赤色で施設内がとても明るくなりました。どうもありがとうございました。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年からの世界的な経済状況悪下の影響を受け、私達の生活にも一抹の不安を感じますが、今年も皆様にとりまして良い年であります様にお祈り致します。